

日本BS放送株式会社

2024年8月期 第3四半期

(決算補足説明資料)

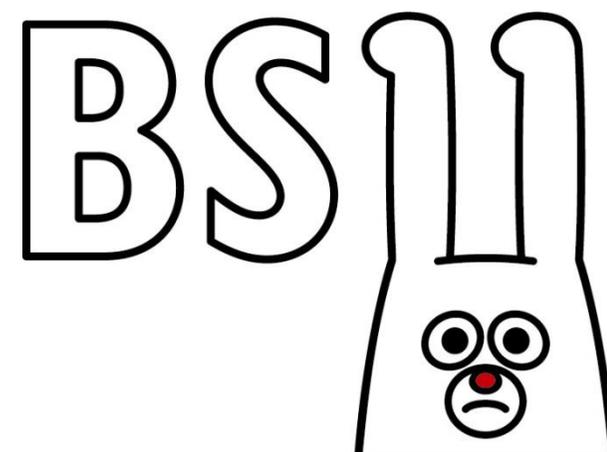
2024年7月4日



証券コード: 9414

I	決算概況	P2
II	重点実施事項トピックス	P10
III	通期計画	P17
IV	(ご参考)会社概要	P21

I 決算概況



2024年8月期 第3四半期(連結)

売上高 **9,067百万円** (前年同期比 0.5%減 ↓)

営業利益 **1,556百万円** (前年同期比 3.7%減 ↓)

2024年8月期 第3四半期(個別)

売上高 **8,481百万円** (前年同期比 1.6%減 ↓)

営業利益 **1,561百万円** (前年同期比 6.0%減 ↓)

売上高は**9,067**百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は**1,556**百万円（前年同期比3.7%減）、
親会社株主に帰属する四半期純利益は**1,076**百万円（前年同期比2.2%減）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2023年8月期 第3四半期累計	2024年8月期第3四半期累計			
		実績	前年 同期比	増減額	主な変動要因
売上高	9,113 (100.0%)	9,067 (100.0%)	△0.5%	△45	(売上高)
売上総利益	4,411 (48.4%)	4,313 (47.6%)	△2.2%	△98	・放送事業収入・・・△138百万円 ・その他収入・・・+2百万円 ・その他収入(子会社)・・・+90百万円
営業利益	1,616 (17.7%)	1,556 (17.2%)	△3.7%	△59	(売上原価) ・番組制作費・・・+27百万円 ・番組購入費・・・△48百万円 ・放送関連費用・・・△67百万円 ・減価償却費・・・+130百万円
経常利益	1,615 (17.7%)	1,561 (17.2%)	△3.3%	△53	(販管費)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,100 (12.1%)	1,076 (11.9%)	△2.2%	△23	・広告宣伝費・・・△83百万円 ・人件費・・・+42百万円

貸借対照表の概要（連結）

		2023年8月期末	2024年8月期第3四半期末	
			第3四半期	前年増減額
	流動資産	16,669 (67.3%)	16,022 (64.0%)	△647
	固定資産	8,086 (32.7%)	8,999 (36.0%)	912
資産合計		24,756 (100.0%)	25,021 (100.0%)	264
	流動負債	2,018 (8.2%)	1,670 (6.7%)	△348
	固定負債	131 (0.6%)	130 (0.6%)	△0
負債合計		2,150 (8.8%)	1,801 (7.3%)	△348
純資産合計		22,606 (91.2%)	23,219 (92.7%)	613
負債・純資産合計		24,756 (100.0%)	25,021 (100.0%)	264

売上高は**8,481**百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は**1,561**百万円（前年同期比6.0%減）、
 四半期純利益は**1,083**百万円（前年同期比5.7%減）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2023年8月期 第3四半期累計	2024年8月期第3四半期累計			
		実績	前年同期比	増減額	主な増減要因
売上高	8,617 (100.0%)	8,481 (100.0%)	△1.6%	△136	・タイム収入の増加・・・+27百万円 ・スポット収入の減少・・・△165百万円 ・その他収入の増加・・・+2百万円
売上総利益	4,201 (48.8%)	4,037 (47.6%)	△3.9%	△163	(段階利益) 売上高が前年同期比減 番組制作費の増加、 放送設備償却負担増等による減少
営業利益	1,661 (19.3%)	1,561 (18.4%)	△6.0%	△100	
経常利益	1,663 (19.3%)	1,568 (18.5%)	△5.7%	△95	≪利益減少の具体的要因≫ 売上原価 ・アニメコンテンツの強化・充実 ・2022年10月～2023年3月にかけて実施 したスタジオ設備更新に伴う償却負担
四半期純利益	1,148 (13.3%)	1,083 (12.8%)	△5.7%	△65	

	2023年8月期 第3四半期累計	2024年8月期 第3四半期累計	
		実績	前年同期比
売上高	8,617 (100.0%)	8,481 (100.0%)	△1.6%
タイム収入	6,061 (70.4%)	6,089 (71.8%)	0.5%
スポット収入	1,924 (22.3%)	1,758 (20.7%)	△8.6%
その他	631 (7.3%)	633 (7.5%)	0.3%

主な増減要因(前年対比)

- **タイム収入**
通販枠の強化・拡充により、前年同期比+0.5%
- **スポット収入**
前期から続く市況の低迷による通販スポットの減少により、前年同期比△8.6%
- **その他**
配信事業の収入拡大、アニメ制作委員会からの出資配当の増加等により、前年同期比+0.3%

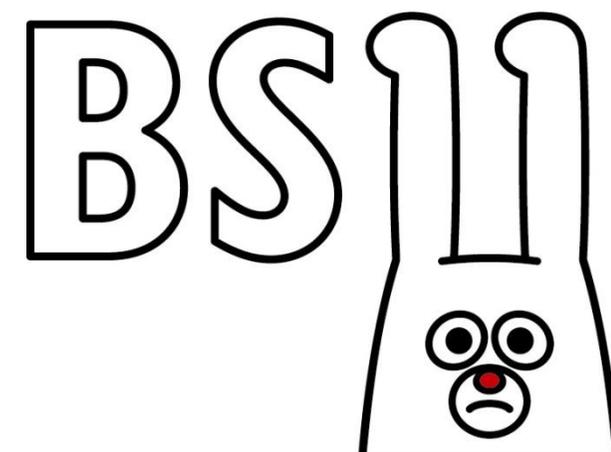
主要費用項目実績（個別）

	2023年8月期 第3四半期累計	2024年8月期 第3四半期累計		
		実績	前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用(原価)	2,792 (32.4%)	2,770 (32.6%)	△0.8%	
番組購入費	297 (3.5%)	248 (2.9%)	△16.3%	編成戦略に基づくアジアドラマの放送枠変更による減少
番組制作費	2,494 (28.9%)	2,521 (29.7%)	1.1%	人気アニメコンテンツ制作委員会への積極参加による増加
放送関連費用(原価)	479 (5.6%)	412 (4.8%)	△14.0%	
放送委託費	396 (4.6%)	375 (4.4%)	△5.3%	
技術費	82 (1.0%)	36 (0.4%)	△55.7%	前年のスタジオ設備更新に伴う費用の反動減
広告関連費用(販管費)	670 (7.8%)	590 (7.0%)	△11.9%	
広告宣伝費	639 (7.4%)	559 (6.6%)	△12.5%	広告宣伝施策の効率性強化
販売促進費	30 (0.4%)	30 (0.4%)	—%	

貸借対照表の概要（個別）

		2023年8月期末	2024年8月期第3四半期末		
			第3四半期	前年増減額	主な増減要因
流動資産		16,103 (66.6%)	15,587 (63.4%)	△516	現金及び現金同等物の減少 △275百万円 売掛金の減少 △140百万円
	固定資産	8,091 (33.4%)	9,005 (36.6%)	913	投資有価証券の増加 +1,309百万円 減価償却による有形固定資産の減少 △399百万円
資産合計		24,195 (100.0%)	24,592 (100.0%)	397	
流動負債		1,567 (6.5%)	1,343 (5.5%)	△223	未払金の減少 △212百万円 未払費用の減少 △42百万円
	固定負債	127 (0.5%)	127 (0.5%)	0	
負債合計		1,694 (7.0%)	1,470 (6.0%)	△223	
純資産合計		22,501 (93.0%)	23,121 (94.0%)	620	繰越利益剰余金の増加 +620百万円
負債・純資産合計		24,195 (100.0%)	24,592 (100.0%)	397	

Ⅱ 重点実施事項トピックス



知恵と知識を結集して戦略を強力に実行、
これら6つの「力」を強化・実践

「6つの力」



「6つの力」を具現化する重点施策を
新たに「Value3」と位置づけ推進





1.コンテンツ価値の最大化

➤レギュラー番組の強化



毎週木曜日よる9時～

人気の武将について、複数のエピソードによる3部作シリーズ形式でお届け



毎週木曜日よる11時～

(株)U-NEXTとの共同制作コンテンツ
格闘技に特化した専門性の高い番組へ

新



不定期放送

➤ドラマコンテンツの拡充



© ITV Studios Limited 1989

BS11×U-NEXT 韓流セレクション



© SLL Joongang Co.,Ltd all rights reserved.

➤コンテンツの強化



毎週日曜よる9時～



毎週火曜よる8時～



©2009安倍夜郎・小学館/「深夜食堂」製作委員会



©Shenzhen Tencent Computer Systems Company Limited



毎週日曜よる10時～





1.コンテンツ価値の最大化

▶特別番組の強化

他局とのコラボレーション施策

新



©TOKYO MX/BS11



最多17の放送局とコラボレーションを実施



制作著作:KBS京都/BS11

スポーツコンテンツ

第二弾



BS11ソフトボール中継 JDリーグ2024



新



新



山中崇のオリジナル・カレー
三羽 至福の一杯漫遊記

番組の放送と配信はもちろん、番組内で登場したオリジナル・カレーのレシピ動画の配信も実施



昨年12月にご逝去された八代亜紀さんの追悼3時間スペシャル版を放送



II. 投資最適化へ向けた意識改革 III. 放送周辺事業の強化と発展

➤アニメ関連番組 毎クール40タイトル以上放送!



©理不尽な孫の手/MFブックス/「無職転生II」製作委員会



©川上泰樹・伏瀬・講談社/転スラ製作委員会



『転生したらスライムだった件 第3期』の放送に合わせて、同アニメの広報・告知を行う、新たな取り組みの番組『転スラ情報局 BS11支部』を制作



©イノウエ/小学館・死神坊ちゃんと黒メイド製作委員会



© あろろ・芳文社/野外活動プロジェクト

➤イベントの推進



制作:ライブエグザム / 製作著作:BS11



(株)文化放送 共同イベント

イベント × 配信 × 放送 施策

➤新規施策の展開



「AnimeJapan2024」@東京ビックサイト



「とちてれ☆アニメフェスタ!」@宇都宮市オリオンスクエア



(株)産直と協業でオリジナル通販サイト「BS11SHOP産直通販」をオープン



1. コンテンツ価値の最大化

➤ スポーツコンテンツの拡充



JLPGAツアートーナメント「アース・モンダミンカップ 2024」の決勝ラウンド「大会3日目・最終日」の様をお届け



『2024年度 全日本学生柔道優勝大会』



『山の日スペシャル』

➤ コラボレーション施策の推進



制作著作:KBS京都/BS11

『生中継 祇園祭山鉾巡行・前祭 / 後祭 2024』



制作著作:KBS京都/BS11

『生中継! 京都五山送り火 2024』



(公社)びわこビジターズビューロー

『生中継 2024 びわ湖大花火大会』



『生中継 ぎふ長良川花火大会 2024』



I.コンテンツ価値の最大化 III.放送周辺事業の強化と発展

▶ 特別番組の強化



笑福亭鶴瓶さんが、ゲストの「歌」と「人生」を丸裸にする、歌って語らうトーク&歌謡番組

▶ イベント推進



(株)文化放送とのコラボレーション施策

「わらじ presents ワールドダイスター 朗読劇☆ワ朗」を東京証券会館にて実施

▶ 新規施策



オリジナル通販サイト連動番組

「BS11SHOP産直通販」で取り扱い中の商品を番組内で紹介する通販連動番組『バッカスの冒険』を放送

(株)エフエム東京とのコラボレーション施策



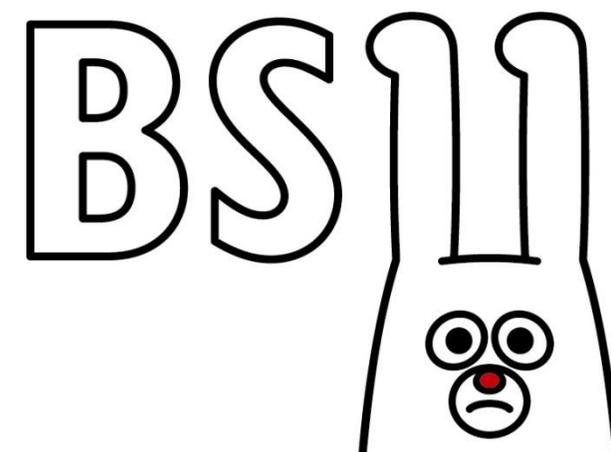
TOKYO FMのデジタル音声配信サービス「AuDee」にて報道番組『報道ライブ インサイドOUT』の番組音声の配信をスタート

▶ アニメイベントの主催



アニメソング番組『Anison Days』のリアルイベント「Anison Days Festival 2024」を、7月20日にLINE CUBE SHIBUYAにて開催

Ⅲ 通期計画



売上高は12,600百万円(前期比1.5%増)、営業利益は1,910百万円(前期比3.7%減)、
親会社株主に帰属する当期純利益は1,318百万円(前期比4.9%減)を計画

(単位:百万円、下段は売上比)

	2023年8月期		2024年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	6,041 (100.0%)	12,417 (100.0%)	5,936 (100.0%)	△1.7%	12,600 (100.0%)	1.5%	182
営業利益	1,109 (18.4%)	1,983 (16.0%)	927 (15.6%)	△16.4%	1,910 (14.5%)	△3.7%	△73
経常利益	1,109 (18.4%)	2,015 (16.2%)	930 (15.7%)	△16.2%	1,910 (14.5%)	△5.2%	△105
親会社株主に帰属 する当期純利益	755 (12.5%)	1,386 (11.2%)	642 (10.8%)	△15.0%	1,318 (10.0%)	△4.9%	△68

売上高は11,900百万円(前期比2.4%増)、営業利益は1,900百万円(前期比3.6%減)、
当期純利益は1,311百万円を計画(前期比3.8%減)

(単位:百万円、下段は売上比)

	2023年8月期		2024年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,720 (100.0%)	11,625 (100.0%)	5,547 (100.0%)	△3.0%	11,900 (100.0%)	2.4%	274
タイム収入	3,994 (69.8%)	8,288 (71.3%)	4,009 (72.3%)	0.4%	8,544 (71.8%)	3.1%	255
スポット収入	1,314 (23.0%)	2,563 (22.0%)	1,164 (21.0%)	△11.4%	2,457 (20.6%)	△4.1%	△106
その他	411 (7.2%)	773 (6.7%)	373 (6.7%)	△9.3%	898 (7.6%)	16.1%	125
営業利益	1,141 (20.0%)	1,970 (17.0%)	920 (16.6%)	△19.4%	1,900 (16.0%)	△3.6%	△70
経常利益	1,143 (20.0%)	1,974 (17.0%)	924 (16.7%)	△19.2%	1,900 (16.0%)	△3.8%	△74
当期純利益	789 (13.8%)	1,362 (11.7%)	638 (11.5%)	△19.2%	1,311 (11.0%)	△3.8%	△51

2024年8月期は、期末配当金 30.0円を計画

～2024年8月期の1株当たり配当額を前期より4円引き上げ～

配当方針について

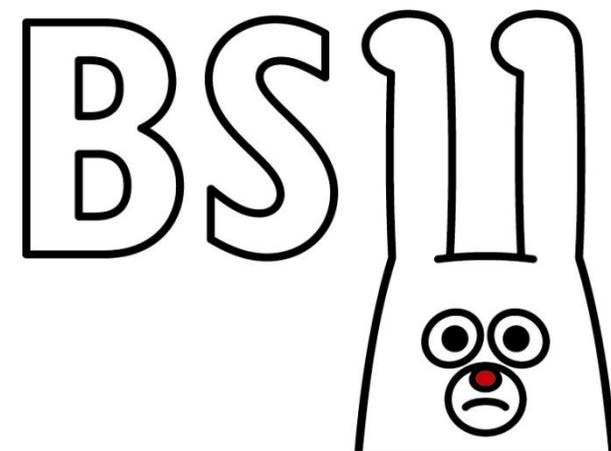
- ・ 企業価値の向上や持続的な発展に向け成長を確保する一方で、株主等ステークホルダーの期待に応えられるよう、経営資源の適切な配分を行い、配当性向40%程度を基準として、株主還元の拡充を図っていく方針です。
- ・ 年1回の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金

※1株当たり当期純利益の数値は、2017年8月期は個別、2018年8月期以降は連結で表示しております。

	2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期	2021年 8月期	2022年 8月期	2023年 8月期	2024年 8月期 (予想)
年間配当	18.0 円	19.0 円	20.0 円	20.0円	20.0円	20.0円	26.0円	30.0円
1株当たり当期純利益	85.27 円	93.19 円	65.08 円	83.72円	104.83円	89.84円	77.85円	74.01円
配当性向	21.1%	20.4%	30.7%	23.9%	19.1%	22.3%	33.4%	40.5%

IV (ご参考)会社概要



会社概要

本社	東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11”チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長 齋藤 知久 代表取締役社長 近藤 和行
設立	1999年8月
資本金	41億9,071万円（2024年2月29日現在）
従業員数	133名（連結）（2023年8月31日現在）

沿革

1999年8月	株式会社ビックカメラにより、衛星放送の番組及び普及に関する調査研究を目的として設立
2000年12月	BSデジタルデータ放送開始
2004年9月	東経110度CSデジタル放送開始
2007年12月	BSデジタルハイビジョン放送（BS11）開始
2010年 4月	一般社団法人日本民間放送連盟に入会
2010年11月	株式会社ジュピターテレコム（J:COM）において再送信開始
2011年10月	接触率調査（BSパワー調査）に参加
2014年3月	東京証券取引所市場第2部へ上場
2015年3月	東京証券取引所市場第1部へ上場
2018年1月	理論社・国土社の株式を100%取得し完全子会社化
2022年4月	東京証券取引所市場再編により、スタンダード市場へ移行

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

当社は、国民共有の希少資源である電波を預かる放送事業者として公共的使命と社会的責任の重要性を深く認識しています。「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え幸せな社会づくりに貢献します」という経営理念のもと、企業の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るため、実効性のあるコーポレートガバナンスを実現してまいります。

全国無料BS放送局

グループ会社	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	ビックカメラ	三井物産	松竹・東急	ジャパネット	吉本興業	放送大学
放送局	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BSテレ東	BSフジ	BS11	BS12	BS松竹東急	BSJapanext	BSよしもと	BSキャンパスex BSキャンパスon
系列	地上波系列					独立系					公共
開局年月	2000年12月					2007年12月		2022年3月			2011年11月
グループ	<p>“無料BS放送6局”として視聴状況調査を実施（～2020年3月）、 共同で『メディアガイド』を作成するなどBS放送の価値向上に向けた 取り組みを実施。</p>										

BS11の特徴

- ①独立系だからこそ**自由なコンテンツ制作・展開**が可能！
- ②『**ドラマ**』・『**アニメ**』・『**競馬**』など多岐にわたるラインナップ編成により、**幅広い年齢層の視聴者層**が存在！
- ③家電量販店**ビックカメラ**を親会社に持つため、番組・CMの放送等に加えて、**消費者へのダイレクトなコンタクトポイント**が**持てる企画**が可能！

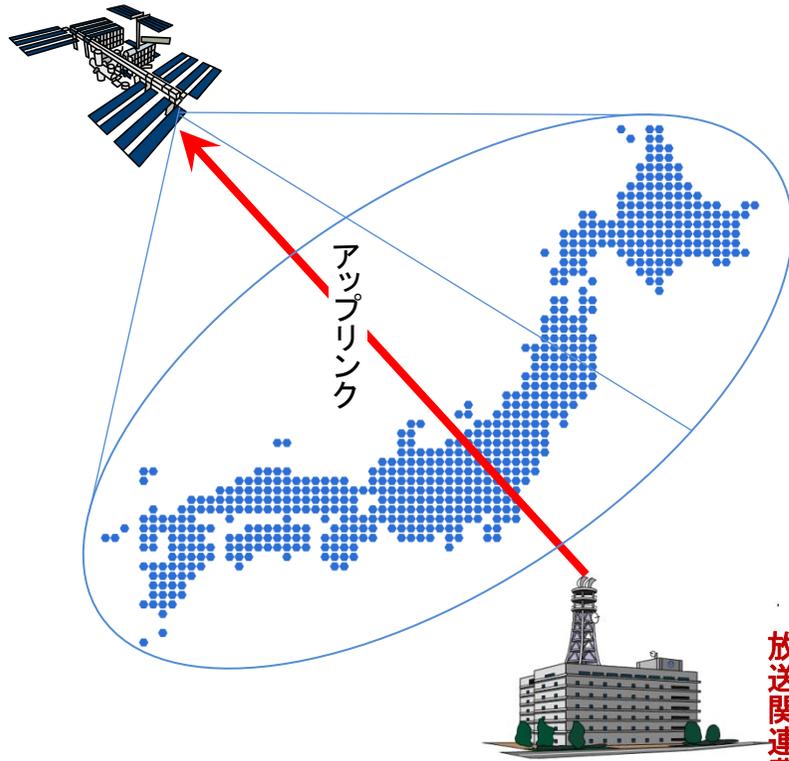
【地上波とは全く異なるコスト構造により高効率の広告ビジネスを実現】

◆地上波に比べ低コストでの放送 ⇒ 効率的な広告費で日本全国に放送可能

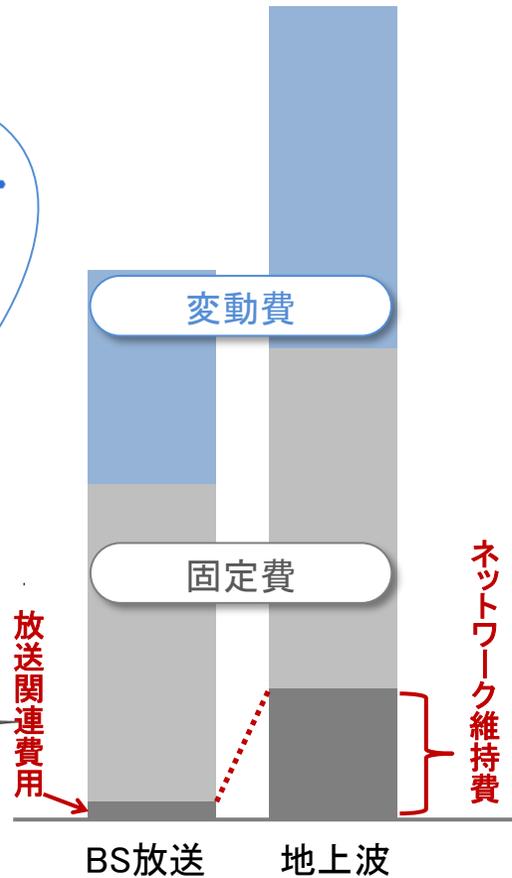
無料BS放送

コスト構造の比較

キー局系列の地上波放送



- ・日本全国に電波の送信が可能
- ・ネットワークの構築が不要



- ・少数チャンネル地域の存在
- ・嵩むネットワーク維持費

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL <https://www.bs11.jp/>

